

楽しそうに遊ぶ子どもたちの元気な声が聞こえなくなってから1か月余りが過ぎました。「シーン」と静かな雰囲気、幼稚園も何だか寂しそうです。子どもたちは毎日、元気に過ごしていますか。「ちゃんと早寝早起きしてるかな?」「お母さんやお父さんにワガママを言っていないかな?」「しっかりと家のお手伝いしてるといいなあ」…先生たちは新学期に向けて準備をしながら、ご家庭での子どもたちの姿を思い浮かべ、色々と思いを巡らせています。

安倍首相から「小・中学校、高等学校への全国一律の休校要請」が出されたのが2月末。これを受け、幼稚園を開園すべきか否か…いろいろと悩みました。各ご家庭のご事情もありますし、子どもたちの「幼稚園で遊びたい」気持ちも大事にしたいし…でも「大切な子どもたちをお預かりする幼稚園」として、健伸学院が一番大事にしなければならないのは「子どもたちの安全を守ること」です。そこで最終的に休園という結論に至りました。

4月に入っても新型コロナの感染者数は増加の一途をたどり、まだまだ予断の許さない状況です。国の緊急事態宣言や県の自粛要請が出される等、置かれている状況は目まぐるしく変わっていますが、「子どもの安全」という軸をしっかりと守りながら状況を見極め、柔軟に都度判断して行きたいと思います。

最近、テレビを付けると新型コロナ関連のニュースばかり。観ているうちに何だか不安な気持ちが膨らんで、「感染したらどうしよう」と心が落ち込み、体調まで悪くなるような…これでは悪循環ですね。「自分だけは大丈夫」と油断せずには用心することは必要ですけれども、まずは感染しない為の基本的な対策をしっかりと取ることが大切です。お子さんにも「外から帰ってきたらうがいと手洗い、それから咳エチケットも忘れずに」とお伝えいただきたいと思います。

「学ぶ」という言葉は「真似る」からきています。「子どもは親の背を見て育つ」と言いますが、子どもたちにとって、身近なおとなである私たちは、いわば生きた教材です。私たちおとなが暗い気持ちでいたら、自然とお子さんも心が落ち込んでしまうかも知れません。「どんなにツライ状況でも、思いを一つにみんなで力を合わせて頑張れば道が開けるんだ!」。そんな「明るい希望」と「自分を信じる心」を子どもたちに伝えるためにも、私たちおとなが前を向くことが大切です。

先日、ある保護者の方が「いつも忙しい夫が家にいて家族で過ごす時間が増えました。子どもも喜んでいて、家族が一緒にいる幸せを感じています」とおっしゃっていました。また「夫と話し合って、家事分担を見直す良い機会になりました」とおっしゃっていた方もいらっしゃいます。最前線で闘われている医療従事者の方々の姿を見て、人に支えられて生きている事に気づき、感謝されている方も多いでしょう。気持ち一つ、見方を一つ変えるだけで、これまで忙しい毎日の中で見逃していた「大切な何か」に気付くことができるかも知れません。今話題のテレワーク、これだって今までの仕事を見直しこれからの仕事の在り方、もっと言えば（自分や家族の）生き方を考える良い機会になり得ます。

今、先の見えないような大変な状況の中に置かれている方も多いかと思います。でも、終わらない冬はなく、春はいつかやってくるものです。新型コロナをネガティブにばかり捉えがちですが、試練とも言える大変な今だからこそ、「今までの当たり前を見直して、新しいチャレンジへとつなげて行く」前向きな気持ち、そして「人と人とが互いに思い合い、心を一つに力を合わせていく（ワンチームの精神ですね）」気持ちこそ、大事なのだと思います。

人の笑顔を見ていると、周りの人まで何だか幸せを感じます。その朗らかな明るさにひかれて次々と人が集まり、自然と道が開けていくものです。まだ厳しい状況が続くと思いますが、子どもたちを笑顔で迎えられるよう、教職員一同、頑張っていきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いします。